

浦臼町地域公共交通会議

平成 19 年 1 月 9 日設置



浦臼町

概要

当町の公共交通は、浦臼町から奈井江町に至る道道奈井江浦臼線を運行する町営バス奈井江線と浦臼駅から晩生内方面(国道275号線)に至る町営バス晩生内線が運行されているが、人口減少と少子高齢化の進行により利用者の減少が続いていることから、合理的かつ利便性に配慮した運行体制が必要である。また、交通弱者の増加が懸念され、通院や買い物及び生徒による通学手段の確保など、近隣市町村を含めた新たな公共交通の再構築を行うものであります。

○地域公共交通の現況

- ・町営バス(奈井江線 5 往復、晩生内線 5 往復)
- ・北海道中央バス(株)(滝川浦臼線 5 往復)
- ・スクールバス一般利用有償運行(浦臼中心部と各方面を連絡)
晩生内・札的方面及び鶴沼・黄臼内方面 登校便 1 便、下校便 3 便

○地域公共交通の課題

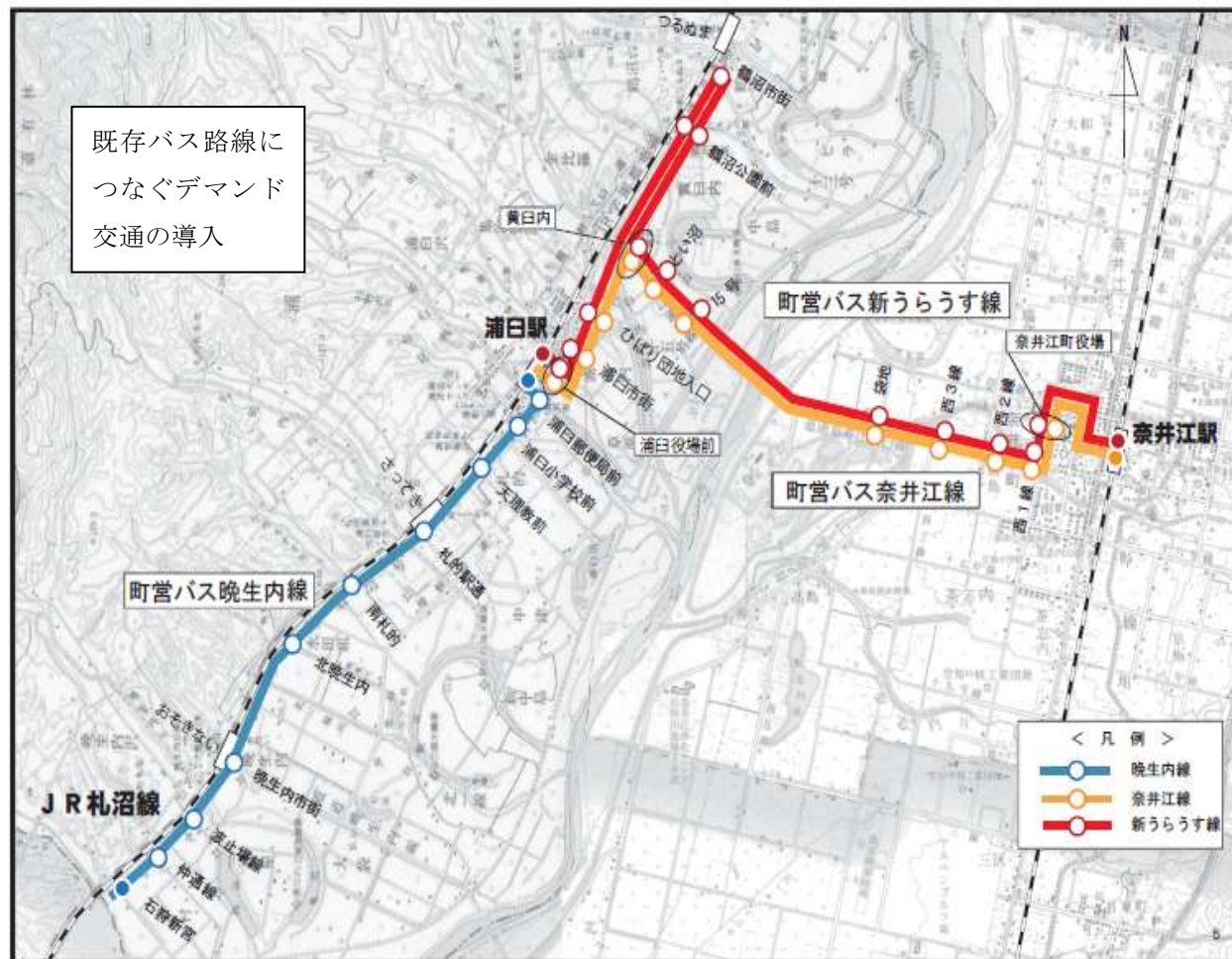
- ・町営バスの利用者の低下
- ・高齢者の買物及び通院等の交通確保
- ・学生の通学等の交通確保
- ・町民ニーズを踏まえた交通手段の確保

○調査の主な内容

- ・現況調査
- ・実態調査
住民アンケート調査 タクシー利用実態調査
町営バス乗降調査

○浦臼町地域公共交通会議開催状況

- 平成 24 年 8 月 3 日 第 1 回浦臼町地域公共交通会議
・主な協議事項 地域公共交通調査事業の内容及び流れ
- 平成 24 年 11 月 29 日 第 2 回浦臼町地域公共交通会議
・主な協議事項 現況調査及び実態調査の結果 浦臼町地域公共交通の検討、協議
- 平成 25 年 1 月 16 日
・主な協議事項 地域公共交通の実証運行について
- 平成 25 年 3 月 12 日
・主な協議事項 生活交通ネットワーク計画の素案について



浦臼町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ① 地域別人口、世帯数、住民アンケート調査、町営バス及び中央バス乗降調査、タクシー利用実態調査を実施
- ② 調査結果から現状と課題整理を把握
- ③ 生活交通ネットワーク計画の素案の検討

●調査事業の結果の適切性

浦臼町の地域公共交通の実態、町民ニーズ及び課題等が把握され、今後の浦臼町地域公共交通再編の方向性が明らかになり、適切に実施された。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

【方針】

- ① 町営バス運行体制の見直し
- ② 効率的運行による経費の削減
- ③ 新たな交通システムの導入

【実施時期】

平成25年4月実証運行 10月本格運行

- ① 予約型乗合タクシーの導入(4月から5月までの実証実験)

※全地域に予約型乗合タクシーを導入することにより、高齢者等が利用しやすいサービスの提供を図る。(10月から本格運行)

平成25年4月本格運行

- ① 町営バス奈井江線の始発便と最終便を鶴沼経由とする。(4月より本格運行)

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点についてアドバイスする。

- ・10月からの本格運行に当たっては、単に路線の延長等によりフィーダー化するのではなく、実証調査とそれに付随する住民アンケートの結果を精査し、また既存の路線バスとの乗り継ぎ円滑化と町内全体の交通体系のあり方にも配慮した上で、便数やダイヤ等の設定をされたい。
- ・将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者等との間の費用分担のあり方についても検討されたい。